

議 事 概 要 書	
令和８年度 社会教育委員会議 会議録	
開 催 日 時	令和８年７月２９日（水）１３時３０分から１５時００分まで
開 催 場 所	玉野市立図書館・中央公民館 多目的室（大）
出 席 委 員	玉野市社会教育委員 委員長他８名 事務局 １３名
傍 聴 の 可 否	可
傍 聴 人 数	なし
審 議 概 要	1 開会 2 教育長あいさつ 3 委員紹介 4 役員選出 5 議題 (１) 令和８年度 玉野市教育行政重点施策について 承認 (社会教育課長説明) (２) 令和８年度社会教育事業について 承認 ・社会教育係 ・生涯学習センター事業計画 ・文化振興係 ・スポーツ振興係 【社会教育関連事業について】 (委員) 現在の奨学金貸付の利用状況を教えていただきたい。 (事務局) 今年度の奨学金貸付対象者は継続１０名、新規６名の計１６名である。 (委員) 子ども楽級・おさらい会について、アドバイザーの担い手が減っており、学校統合もあるなかで担い手を増やすためにどのような方針で進めていくのか事務局の考えを伺いたい。 (事務局) 地域の方に協力いただく事業である。どうすれば若い世代の方に事業に参加していただけるか模索しているところである。ぜひ、委員のみなさまから、どうすれば地域の方に力をかしていただけるかについてアイデアをいただきたい。 (委員) 子ども楽級がどのような活動をしているのか知ってもらう機会があれば、アドバイザーをやってみたいという方がいると思うので、案内をしてみてもどうか。 (事務局) 社会教育委員の活動として、皆さんに他団体の取り組みなどを一緒に見に行ってくださいのも一つの方法かと。委員の方から素敵なご意見をいただきましたので、もしそういう場がありましたら、皆様にお声掛けさせていただく。 (委員) 部活動地域展開事業について、中学校の先生から現状への意見などをいただきたい。 (委員) 部活動移行としていたが、部活動と地域クラブの両方を行っている。このことを市民の方に中々理解してもらえず、学校としてもやりにくい状態となっている。 その中で一校一専門種目について少しずつ進めている。しかし、市内の中学生の数がかなり少なくなっていることに加え、学校の統廃合で

	各中学校の規模に差があり、設置できる部活動の数も減ってきている。施設のにも、専門種目が発展していくというのは難しいのではないかと考えている。 徐々に移行に向けて進めているが大きな課題としてお金が相当かかってしまうことがあげられる。これまでの部活動であれば年間数千円程度の個人負担で済んでいたが、地域クラブとなると、クラブにもよるが多いものでは年間数万円を負担する場合もある。保護者や子どものニーズがどこにあるのかを考えながら良い方向に進めていきたい。 【文化振興事業について】 （委員）市民が玉野市にこれだけの文化財があることをほとんど認識していない現状がある。文化財があることを示す看板を設置してほしいということを伝えているが、予算も取っていない。文化財の「保存」という言葉だけでは市民の心が向いておらず、関心がほとんど伸びていないのではないと思う。私は実際に文化財を見て回っているが、市民の方が普段文化財に触れる機会がなく、学校の先生も含めてその街の良きものを説明する人もいないというのが現状である。小学校の頃から文化財に触れる機会を設けていただきたい。 （事務局）自分たちが住んでいる街にどういった文化財があるかということについて市民が認識していない現状があるのかもしれないということは感じている。ハード面については、資料にある「文化財保護事業」ということで、文化財のところに案内板を取り付けるなど行っており、文化財の新規指定があれば新たに設置したり、過去につけた看板が老朽化したものについては状況を見ながら年に数枚程度、更新をかけている。ソフト面についても、市民のみなさんに文化財の存在を知っていただくことが保存に繋がっていくため、ホームページや広報たまので文化財の取り組みについての掲載を行っている。 （３）社会教育関係団体 補助金交付について 承認 【社会教育団体への補助金について】 （委員）補助団体である玉野市子ども会連絡協議会について所属している会の数が少ないと聞いている。所属している団体の数と、今後の補助金額についての考えを教えていただきたい。 （事務局）現在、所属している単位子ども会は１団体のみである。この単位子ども会が今年度末で活動を辞めるため、来年度については検討中である。 6 その他 ・社会教育委員の役割 7 閉会
特記事項	なし
事務局	玉野市教育委員会社会教育課 電話 0863-32-5577 FAX 0863-32-1329